

Magic Mat II の導入(3)(HP 収載)

—ThorensTD124—

1. 始めに

今回は、Magic Mat II を ThorensTD124 に使用してみます。

2. Magic Mat II の試聴方法

厚さ 0.48mm の薄型ですので、既存のターンテーブルシートの上に敷いて使用してみます。現在のアナログプレイヤーのターンテーブルシートは、TEAC の和紙のターンテーブルシート TA-TS30UN-BW ですので、その上に Magic Mat II を敷きます。



音源は聴きなれた下記を使用します。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Angel (東芝 EMI) AA 9117・C

ゲオルグ・フドリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. Magic Mat II の試聴結果

最初に Achromat の状態で聴いておき、Magic Mat II をしいて聴き直します。

バッハの Sonatas & Partitas は、TA-TS30UN-BW の状態でも、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしたことと、レコードアンチスタティックの効果で、繊細なボウイングが楽しめます。Magic Mat II を敷きますと、高音の繊細な表情は後退し、ふくよかな音に変わります。

ベートーヴェンの選帝侯のソナタは、TA-TS30UN-BW の状態でも、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしたことと、レコードアンチスタティックの効果で、芳醇な響きです。Magic Mat II を敷きますと、芳醇な響きは、さほど損なわず、打鍵がクリアになります。

ワーグナーのワルキューレは、TA-TS30UN-BW の状態でも、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしたことと、レコードアンチスタティックの効果で、ソフトな音ですが、以前に比べると押し出しが強くなっています。Magic Mat II を敷きますと、解像度が向上し、音の切れがよくなり、ソプラノやメゾソプラノの歌唱の定位がはっきりしてきます。

ヘンデルのメサイアは、TA-TS30UN-BW の状態でも、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしたことと、レコードアンチスタティックの効果で、合唱は力強く、ソリスト達の歌唱は張りがあり、弦楽も滑らかです。Magic Mat II を敷きますと、ソリスト達の歌唱の張りや弦楽の滑らかさには変わりはありませんが、合唱とオーケストラの解像度が増し、一段と迫力がでてきます。

4. まとめ

Magic Mat II はピアノの打鍵の精度や合唱を含むような大編成の曲では解像度の向上など、望ましい方向に働きますが、反面ソロヴァイオリンなどの繊細な表現は TA-TS30UN-BW の状態が望ましく、音源によって使い分けることも必要と考えられます。

以上